

# 大阪教育大学附属高等学校平野校舎の取り組み

大阪教育大学附属高等学校平野校舎  
教諭（WWL推進委員長） 岡本圭史

# 【1】大阪教育大学WWLの枠組み



国立大学法人  
大阪教育大学

Society5.0に向かう生徒と教員のための「学びの共同体」の構築  
データサイエンスに基づくイノベティブなグローバル人材育成システムの開発

## 国内外協働大学

大阪大学  
大阪府立大学  
ハノイ大学  
グリフィス大学  
ライブツィヒ大学  
高雄師範大学

## 「グローバル人材育成」の成果

SGH事業における平野メソッドと  
評価法開発実績の活用

大阪教育大学附属高等学校  
拠点校 **平野校舎**

## 「教育の国際化」の成果

ユネスコスクール、  
IB研究による国際標準化教育の活用

大阪教育大学附属高等学校  
共同実施校 **池田校舎**

## 協働機関

産総研・関西  
関西サイエンス・フォーラム  
日本WHO協会  
JICA関西  
啓林館  
NTT西日本  
ベネッセ

## 海外連携校

トリアムウドムスクサ高校 (TH)  
ヘイスティングガールズ高校 (NZ)  
高雄師範大学附属高級中学 (TW)  
清州外国語高校 (KR)  
日本国際高校 (VN)

# 大阪教育大学

# ALネットワーク 学びの共同体

## 国内連携校

大阪府立住吉高等学校  
大阪府立千里高等学校  
大阪府立泉北高等学校  
大阪市立水都国際中学校・高等学校  
私立金光学園高等学校  
沖縄県立那覇国際高等学校  
和歌山県立星林高等学校

## 附属間ネットワーク

大阪教育大学附属高等学校 **天王寺校舎**      大阪教育大学附属 **特別支援学校高等部**  
神戸大学附属中等教育学校, 京都教育大学附属高等学校, 奈良女子大学附属中等教育学校

※大阪教育大学=「地域ALネットワーク関西ブロック」幹事校

## 【2】本校のWWLカリキュラム

## イノベティブなグローバル人材の育成

本校で育成する「4つの力」  
課題解決力 コミュニケーション力 多文化理解力 セルフマネジメント力

継続的かつ発展的なカリキュラム・マネジメント  
大阪教育大学との協働

全ての教科・科目  
教科での探究  
教員研修会

海外研修

台湾、ベトナム、カンボジア  
ニュージーランド

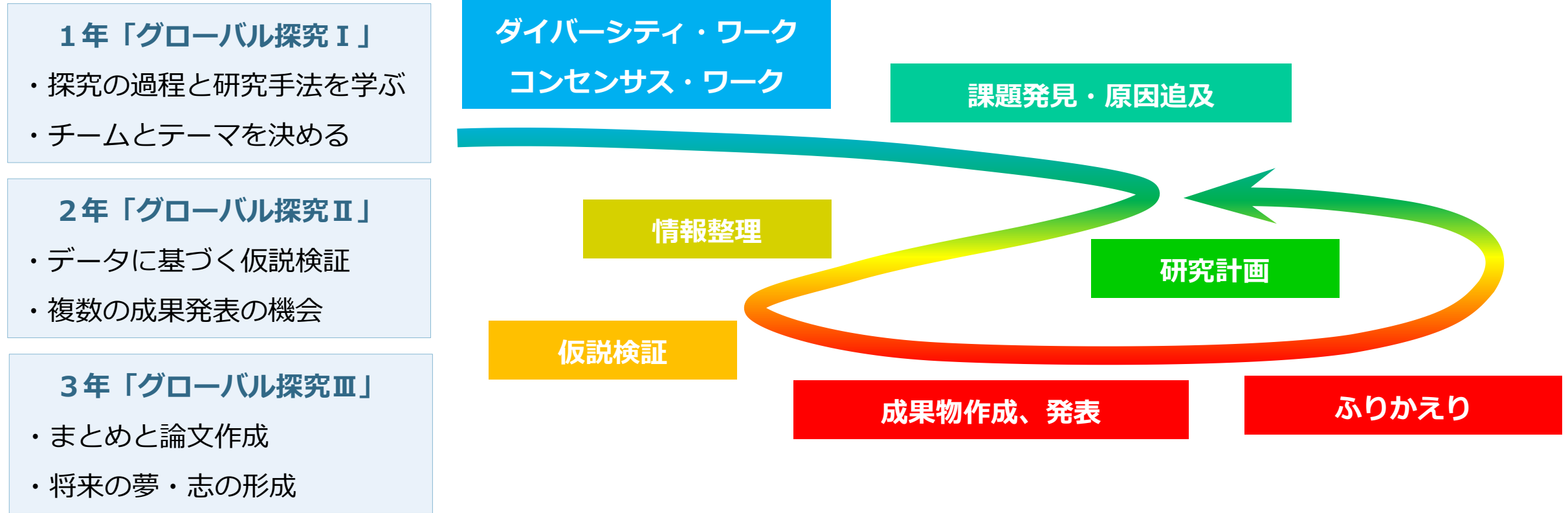
生徒主体の  
高校生国際会議

グローバル探究

グローバル  
人材評価

課題研究の「教員の伴走」

### 【3】 課題研究の流れと独自の工夫



#### 「探究プラス」

生徒が放課後自主的に集まり、課題研究における生徒と教員の関わり方を議論。  
生徒主体で課題研究を深化。

#### 「教員の伴走」

全班を全教員で集団指導。  
生徒と教員のコミュニケーションを通じて、課題研究に対する生徒の意欲を高める。

#### 「指導方針の議論」

各学年の指導方針を議論する会議を定期的開催。  
教科・学校行事との関連も議論。

#### 「海外研修の活用」

台湾研修での交流校の生徒と本校生との国際共同研究。  
国際比較のアンケート調査を実施。

## 【4】 「探究プラス」と「教員の伴走」



### 「探究プラス」の役割

生徒全員が主体的に探究に向かう姿勢が望ましいという教員・生徒双方の意見



生徒が、生徒と教員の関わり方に意見することで、生徒の主体性を高める

### 生徒の意見

担当教員によって研究指導の方法が異なる

グローバルな課題のみを考えるのではなく、身近な課題を検証し、研究成果を得たい

課題研究を進めるために学校が用意したワークシートが多く、自由な発想をする時間がない

保護者、中学生を含めた大規模な発表会をしたい

### 反映した取り組み

全班を全教員で集団指導  
教員全員からアドバイスを受ける

身近な課題をグローバルな課題に繋げる手助けを教員が行う

生徒の様子を見て、必要に応じてワークシートを選ぶ

独自の課題研究発表会の開催  
令和6年3月9日(土)

## 【5】カンボジア研修と課題研究

### カンボジア研修

- ・ 1・2年希望者対象、 8月 7泊8日
- ・ 女性や児童労働を支援する現地NPO法人を訪問  
社会貢献活動の現状と課題を学ぶ
- ・ 交流校を訪れ、生徒間交流を行う



### 関連する課題研究

**カンボジアの水系感染症を減らすために**  
～衛生的な水についてカンボジアの人々に伝える～

カンボジアを訪問し、現地でさまざまな課題を学ぶ。



カンボジアでは水系感染症\*が大きな問題となっており、企業や団体が問題の解決を図っている。

\*水系感染症=水を介して細菌やウイルスが体内に入り食中毒など様々な症状を引き起こすもの



生徒は現地の言葉や文化に合わせた絵本を作成することで知識を増やすことが重要と考えた。

## 【6】台湾研修と課題研究 1

### 台湾研修

- ・ 2年生全員対象、5月 3泊4日
- ・ さまざまな体験・活動を通じて、課題研究で扱う社会課題を見出す
- ・ 複数の高校と交流し、課題研究をともに進める



台北市立松山高級中学との交流

### 関連する課題研究

#### 訪日外国人を通じた地方活性化

～台湾と日本の高校生の視点から考える～

訪日外国人を通じた地方活性化に関心を持っていた生徒が、台北市立松山高級中学の生徒の生徒と交流した。



台北市立松山高級中学の生徒に対するアンケートから、東京に次いで、気候・文化の異なる京都・北海道が人気であった。



気候・文化の違いに着目し、地方空港を活用した観光プランを作成することで訪日外国人を通じた地方活性化が実現できると考えた。

## 【6】台湾研修と課題研究2

### 生徒たちの国際共同研究



### 高雄師範大学附属高級中学との交流

### 日本と台湾の保育制度の比較と提案

海外連携校である高雄師範大学附属高級中学と交流した。高雄師範大学附属高級中学はジェンダーの研究を行っており、それに合わせたテーマで2023年12月から保育に関する研究を開始した(2年生1名と、1年生3名)。



両国ともに、有給の育児休暇や支援金制度を実施しているにもかかわらず、女性雇用率の増加、未婚率の上昇、晩婚化の増加など、少子高齢化が進行している点が共通している。



今後、日本と台湾それぞれの社会背景をより深く分析し、提案を作っていきたい。



## 【7】 高校生国際会議

- ・ 英語で課題研究の成果を発表する「分科会」  
以下の16件、4分科会に分かれて発表した。  
大阪教育大学附属高等学校平野校舎 3件  
大阪教育大学附属高等学校池田校舎 3件  
大阪府立千里高等学校 3件  
金光学園中学・高等学校 3件  
台湾 高雄師範大学附属高級中学 2件  
韓国 清州外国語高校 1件
- ・ さまざまな活動で他校生徒と交流する「ワークショップ」  
ワークショップは「探究プラス」の生徒が一から考案している  
ユニークな取り組みで、生徒主体の学校間連携を実現している



分科会



クイズSDGs



貿易ゲーム



台湾・韓国との  
オンラインミーティング

## 【8】グローバル人材評価

OECD ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030で提唱されたAARサイクルに基づき、大阪教育大学アセスメントグループがAARサイクル尺度を開発

### PDCAサイクル

Plan「計画」

Do「実行」

Check「評価」

Action「改善」

- ・ Plan「計画」から始まるため、予測不能な要素を排除、予定調和的活動に収束
- ・ 変化が大きい状況では、機能不全に陥りやすい

### AARサイクル

Anticipation「予測」

Action「行動」

Reflection「振り返り」

- ・ 今後の予測不能な時代、変化の激しい時代に合わせた
- ・ 柔軟な実行のための見通しを立てる。時には中断も含め、振り返りを重視

## 【8】グローバル人材評価

### AARサイクルの質問項目

因子	質問項目 「全くあてはまらない」～「とてもあてはまる」の5段階で回答
Anticipation 「予測」	新しいことを始めてみたり、学んだりするときに必要なことを予想することができる
	新しいことを学ぶときに、自分にとってどんないいことがあるのか考えることができる
	自分が行ったことが、周りの人や物事にどんな影響があるのかについて予想することができる
Action 「行動」	ひとまずやってみることが大事だと思う
	あまり行動力がないほうだと思う（反転項目）
	何事も恐れず行動することができる
Reflection 「振り返り」	問題が起こったときにその解決策について考えをめぐらせることができる
	現在みえている問題点から、今後どうすれば解決できるかについて考えることができる
	問題が起こったときに、その原因について考えをめぐらせることができる

## 【8】グローバル人材評価

- 平野校舎の生徒はAnticipation（予測）と振り返り（Reflection）のスコアが学年を追うごとに有意に高まっている。
- 行動（Action）のスコアは有意差のある変化がない。
- WWLプログラムの教育効果を示唆している。

